

# OKOPPE

魅力・活力・協力が融和し発展するまち

広報

おこっぺ

新年号

2013 No.616

<興部町ホームページアドレス>  
<http://www.town.okoppe.lg.jp/>

## 年頭のご挨拶

第46回衆議院議員総選挙並びに最高裁判所裁判官国民審査

住民運動実践功労者表彰受賞

沙留中学校 村上拓真君人権作文コンテストで入賞

町長日誌／シリーズ③町内小中学校紹介

情報ひろば／おこっぺのできごと



# 年頭のご挨拶

## 平成25年の新春を迎えて

興部町長 裕 一 寿



新年明けましておめでとう  
ございます。

輝かしく希望に満ちた新春  
をご家族お揃いにて健やかに  
迎えられましたことを心から  
お慶び申し上げます。本年も  
昨年同様に一年間宜しくお願  
い申し上げます。

昨年、本町並びにオホーツ  
ク地域は総じて大きな災害も  
無く、農林水産業を初め穏や  
かな一年であったと思いま  
す。暮れに衆議院議員総選挙  
が行われ「革命」とも言われ  
て誕生した民主党政権が3年  
余りで内部崩壊し、新しい国  
政の枠組みが出来ましたが、  
今年も参議院選挙も有ります

ので、まだまだ混迷が続く情  
勢です。一日も早く安定した  
国政と被災地の復興や景気の  
好転が望まれます。

さて、興部町においては、  
平成15年から町民皆様のご協  
力の下、進めてまいりました  
財政再建10か年計画が今年3  
月で完了となりますが、お陰  
様で120億円余りの起債  
(借金)は半減することが出  
来ました。また、9億円程で  
ありました基金(貯金)も倍  
以上に積立することが出来ま  
した。これも町民皆様のご協  
力のお蔭と心から感謝申しあ  
げます。しか、町の収入の大  
半を「地方交付税交付金」に  
頼っていることに変わりな  
く、国の財政状況がストレ  
ートに私たちの町に影響するこ  
とに変わりありません。です  
が、本町を初めオホーツク地  
域は一次産業の規模拡大や合  
理化が進み、自然環境にも恵  
まれ、長期的に安定した食材

の生産基地に成長してまいり  
ました。勿論、人口の減少は  
続いています。これは産業  
形態の変化によるものであ  
り、過去の様に林業など人力  
に頼っていた時代と一概に比  
較することは出来ないと考え  
ます。とは、申しましても福  
祉などの社会基盤を維持する  
ためには、一定規模の人口、  
特に若い生産世代の確保は欠  
かすことが出来ません。

国鉄の廃止から四半世紀が  
経過して、ボディーブローの  
様にじわじわと私たちの生活  
に様々なダメージと変化を及  
ぼしました。例えば女性ドラ  
イバーが当たり前となり車社  
会が進み町民の生活行動の範  
囲も広がりましたし、24時間  
営業のコンビニエンスストア  
ができました。昔で言えば  
商店の御用聞きや配達が宅配  
というシステムに変えありつ  
つあります。インターネット

ト、携帯電話なども光ファイ  
バー網の整備により都市との  
格差が少なくなりました。一  
方、国鉄という国家の代名詞  
のような存在が地方から姿を  
けすのと相俟って、封建的と  
言われながらも農村の地域社  
会を支えていた家族の在り方

が大きく変わりました。医療  
や福祉、なかでも介護と言う  
過去には家庭内で済まされて  
いたことが、雇用を必要とす  
る介護事業を生み出しまし  
た。よく町民の方から、老後  
のご心配を相談されますが、  
私達の子供のころに比べれ  
ば、はるかに相談や健診、デ  
イサービスやホームヘルパ  
ー、さらには訪問介護として  
施設介護と、ある面では都会  
よりも田舎の方が今は行き届  
いています。しかし、この制  
度を維持するためには多くの  
費用が掛かります。一方、福  
祉産業は雇用を生み出すと言  
う意見もあります。ほかの  
産業と違い生産性は無く税金  
の支えがなければ成り立ちま  
せん。ですから、少子化や生  
産人口の減少はこれらを支え  
る上で非常に憂慮すべきこと  
なのです。

そしてもう一つ大きな課題  
が医療です。大学病院の医局  
制度が崩壊し、若い医師はチ  
ームで行う医療や先進医療の  
行える病院に職を求めています。  
そのため、地方の病院は  
医師不足と医療制度改革によ  
る収益減少に耐え切れず廃  
院、或いは診療所化していま

す。例えるなら国鉄の廃止と  
似た現象です。従って車で2  
時間も走らなければ慢性疾患  
の患者が薬も買えない状況下  
になりつつあります。この様  
な中で国保病院を存続するこ  
とには多くの困難があります  
が、町として地域の産業や住  
民生活を支え、しかも前段述  
べました生産人口を増やす街  
づくりを進めるためには、医  
療体制の充実が切り離すこと  
の出来ない責務であると考  
え、27年春のオープンに向け  
て国保病院の移転改築を決断  
致しました。勿論、当病院だ  
けで医療が完結するわけでは  
なく消防の救急体制を充実  
し、名寄・遠軽・紋別の2次  
医療機関の支援協力を頂きな  
がら進めていきたいと考え今  
年秋の着工に向けて準備を進  
めてまいります。

この様に町政の責務である  
「住民の生命・身体・財産を  
守る」を遂行するためには医  
療と福祉の2本柱を充実しな  
ければなりません。これは  
あくまでも「目的」であり、  
その「手段」として産業振興  
やインフラ整備、そして教  
育・子育てや共働きしやすい  
環境づくりに本年も職員と共

に一丸となって取り組んで参る所存であります。しかしながら、町づくりは役場任せでは出来ません。町民皆様ご自分の家庭を大切にすると同じように、住んでいる町内の繋がりが大切にしていただきたいと思えます。そして、その小さな輪が自治会を中心により大きな輪となり強い町の繋がりが出来、しいては災害時の助け合いや町の発展に繋がると思えます。

## 年頭のご挨拶

# 希望に満ちた年に

興部町議会議長 山川孝義



新年あけましておめでとございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、皆様のご清福と御

後になりましたが。私も昨年健康面で多くの皆様にご心配をお掛けしましたので、その分も今年は十分注意をして興部の発展の為に取組む所存であります。どうか町民の皆様におかれましては今年が昨年より倍して良い年になりますよう、ご健勝にてご活躍されますことを強く願ひまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

繁栄を心からお祈りいたします。

町民の皆様には、日ごろから町政、町議会に対する、暖かいご理解と絶大なご協力、ご指導を頂いています。ことに厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして、昨年も着実に発展への基盤を築いてまいりましたが、ここに新年を迎え本町の一段の活躍を期して、心を新たに更なる活動

を実行していかなければと決意を新たにすることであります。

さて、昨年を振り返りますと、景気の低さや東日本大震災と原子力発電所の大惨事等一年九ヶ月過ぎても暮らしや経済に深刻な影響をもたらすし、加えて政治の混乱、急激な円安、世界的な経済不況に見まわれる中、原子力発電の安全性を巡る諸課題、TPP問題への対応など、かつてない複雑な難しい課題に直面しています。広報の締切では、衆議院選挙の結果がわかりませんが政治情勢は参議院のねじれ現象で、連立政権の組み方にもよりますが、今までと変わらぬ前に進めぬ政治が続くこととなります。

当町におきましては、殆町長の長期に渡つての休職は突然のことで町政執行にあたり不安も感じましたが、副町長はじめ全職員の前向きな取り組み、町政推進に支障をきたすことなく、又、議員各位の協力や町民の暖かいご理解によりまして、行政が進められたことは誠に喜ばしい限りであります。私も、長年議員を続けていますが、新年度予算、町

長の執行方針が議会で町長欠席の中で進められ決議されたのは初めてのことであります。

国保病院の移転改築にあつては、昨年、改築基本設計が終了、今年いよいよ建設に向け動き出すこととなります。場所は、仲町鉄道跡地（郵便局裏手）に決定しました。医師の欠員不足が続いていますが、出来る限り早期に医師の確保に努め、町民の不安解消を図らなければなりません。平成27年4月改築開院に向け万全の体制でスタートさせなければなりません。

今年、議会としまして「住民参加の開かれた議会」を目ざして早い時期に、議会報告会と町民との懇談会を開催する準備を進めているところでもあります。議会改革の一つとして、町政、議会について広く町民の皆様と意見交換を実施し、町民の意見、要望を聞き積極的に議会活動や町政に反映させていきたいと思ひます。町民にわかりやすい開かれた議会とするため、皆さんと共に議会改革を進め活力ある町づくりを推進していかなければなりません。

かつてない変革の時代を迎える中、私たちの前には大きな困難が立ちまわっています。世界、そして未来を見据えて、地域が輝く町を築き上げていかなければなりません。そのためには、これまで以上に町民の皆様と手を携えながら地域の創意と主体性を一層高め、地域主権に向けて大きく前へ踏み出していくことが必要であります。さらに、少子高齢化や過疎化など地域が抱える課題の克服に向け、議会としてもその役割を果たしていかなければならぬと考えています。

この一年も、誰もが安心して生き生きと暮らせる地域づくりを進めていかなければなりません。議会といたしましても全力を尽くしてまいりたいと考えております。引き続き町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた幸せ多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 第46回衆議院議員総選挙並びに 最高裁判所裁判官国民審査が 行われました

12月16日(日)に第46回衆議院議員総選挙の投票、即日開票が行われました。衆議院議員総選挙は、2009年8月以来3年半ぶりの選挙となり、衆議院小選挙区選出議員選挙の北海道12区(オホーツク・宗谷管内)では、定数1人に対し、4人(現職2人、新人2人)の候補者による選挙戦となりました。

全国での最終確定投票率は、小選挙区で59.32%(前回69.28%)、比例代表で59.31%(前回69.27%)となり戦後、過去最低を記録。今回の選挙に対する有権者の関心の薄さがうかがわれました。

興部町における選挙結果は、小選挙区で70.37%(前回83.12%)、比例代表で70.37%(前回83.09%)と、積雪などの影響もあり前回を下回りました。

今回の選挙では、併せて第22回最高裁判所裁判官国民審査も行われ、投票者数2,420人で投票率は69.82%(前回82.05%)でした。

## 【投票結果】

投票区	投票所	小選挙区選出議員選挙			比例代表選出議員選挙		
		有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
第1投票区	興部町中央公民館	2,218	1,295	58.39	2,218	1,295	58.39
第2投票区	北興研修センター	92	64	69.57	92	64	69.57
第3投票区	宇津集落センター	85	61	71.76	85	61	71.76
第4投票区	秋里集落センター	96	71	73.96	96	71	73.96
第5投票区	豊野集落センター	86	54	62.79	86	54	62.79
第6投票区	興部町沙留公民館	810	483	59.63	810	483	59.63
第7投票区	住吉老人寿の家	47	42	89.36	47	42	89.36
第8投票区	富丘福祉の家	42	33	78.57	42	33	78.57
期日前投票		—	343	—	—	343	—
合計		3,476	2,446	70.37	3,476	2,446	70.37

## 【衆議院小選挙区選出議員選挙 開票結果】

候補者氏名	党派	得票数	
		興部町	北海道12区 (オホーツク・宗谷管内)
武部 あらた	自由民主党	1,202	91,208
菅原 まこと	日本共産党	105	11,532
山崎 まや	民主党	354	25,501
松木 けんこう	新党大地	702	52,976
合計		2,363	181,217

## 【衆議院比例代表選出議員選挙 開票結果】

届出政党名	得票数	
	興部町	北海道12区 (オホーツク・宗谷管内)
社会民主党	29	3,398
民主党	357	27,468
自由民主党	857	58,384
日本共産党	77	9,920
日本維新の会	186	17,967
公明党	181	17,780
みんなの党	117	7,927
幸福実現党	12	700
新党大地	501	35,346
日本未来の党	46	3,684
合計	2,363	182,574



## 住民運動実践功労者表彰受賞

住みよい環境にするために自主的に活動し、活力ある地域社会づくりを目指す運動を実践しているとして、昭和九年成年会（会長 三瓶克典氏・会員 19名）が住民運動実践功労者オホーツク総合振興局長表彰を受賞しました。

同会は、昭和9年生まれの方が平成6年に結成し、交通安全を中心にボランティア活動を行っていましたが、平成17年に警察署の要請を受け地域防犯活動にも行うようになりました。登下校時の児童生徒への見守り活動や各種啓発活動に積極的に参加協力し、地域に根差した親しみのある活動が評価され、今回の受賞となりました。

表彰式は、12月6日に町長室で行われ、オホーツク総合振興局の伊藤環境福祉長から表彰状が手渡され、出席した6名の会員は活動の励みになると喜んでいました。



## 沙留中学校 村上拓真君 人権作文コンテストで入賞

「平成24年度全国中学生人権作文コンテスト旭川地方大会」で沙留中学校3年生の村上拓真君が入賞され12月19日、沙留中学校にて興部町人権擁護委員の田中啓一さんより賞状が手渡されました。

このコンテストは、法務省及び全国人権擁護委員連合会の主催で、次代を担う中学生の皆さんに人権尊重の重要性、必要性を理解し、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的として昭和56年度から実施されています。

また、全国中学生人権作文コンテストに毎年協力し、中学生の人権意識の高揚に尽力されたとして、沙留中学校へ感謝状が贈られました。





# 町長日誌 No.110

町長日誌の第110号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**12月12日(水) PM 4:30**

今朝は、久しぶりにさわやかな青空が広がりました。その分しばれましたが、ここ数日間の低気圧の被害が嘘のように穏やかな日になりました。さて、6日夜からとても強い西風が吹き農家を中心にトタンが飛ぶなどの被害が発生しました。中には風で倒れた木に乗用車が下敷きになるなどの気の毒な被害もありました。8日夕方から降り出した雪は9日(日)から10日(月)にかけて大雪の被害をもたらし、西興部村や滝上町では大変な降雪量になりました。幸いにも本町は山間部を除いては、重たく除雪しづらい雪ではあったものの比較的少ない降雪量でしたが、私の家は海岸から約13キロ内陸に入った西興部境ですが、市街地の約3倍の降雪量でした。今回幸いでしたのは吹雪にならなかったことで、平成16年1月の様に町の中が3日間除雪作業も出来なくなる様な「雪害」にならなかったことでした。また、現在冬期間の節電期間中ですが、「停電」が今、最も私たちの生活のなかで発生の可能性の高い災害と考えます。この寒い雪の中、電気の維持あるいは復旧のために昼夜を問わず懸命に作業をされている電気工事関係者の皆様に感謝をしたいと思います。「水・電気・燃油」が直ぐに手に入るのが当たり前では無いと言う意識を多くの皆さんに持っていただきたいと思います。

**12月1日(土)**

午後2時から湧別町のTOMを会場に遠軽自衛隊音楽隊の第14回定期演奏会に出席するために湧別町に出掛けました。この演奏会は以前興部でも一度開催して頂いたことがあります。ところが早く着いてしまいましたので、チューリップ公園内にある洋風の大きな建物、御存じの方も多いたと思いますが、あの建物は郷土資料館で特に上湧別を開拓した屯田兵の資料記念館です。入場料400円を払い約1時間見学しましたが、屯田兵による開拓の歴史が詳しく学べる施設でした。特に屯田兵全ての肖像画が掲示してあるのが素晴らしいなと思いました。私以外の入場者はその間誰も居ませんでしたので、運営については多分職員の人件費も含めすべて町の手出しでしょうが、自分の町の歴史をわずかな時間で見ることの出来る場所は、子供たちの教育の観点からも興部町にも必要な気がしました。この事に関連するのですが、毎年10月に開催されます「札幌おこっぺ故里会」に参加される皆様が一様に口にされることが「自分たちが興部を旅立った時の駅舎が残っていないのが残念だ!」と言う言葉です。町史は開基60年と100年の時に編纂し、その後追加の資料を定期的に整理するようにしています。町の郷土資料館も給食センターの2階にあります。町の歴史が一目でわかる施設とは言えませんし利用しづらい場所にあります。今後の課題ではありますが検討すべきことかと思いました。

**12月11日(火)**

町内のある女性から私宛にこんなメールが届きました。「隣町の紋別市を見習って乳幼児医療の助成を拡大してください。せめて就学するまでは助成してほしいです。紋別市は小学生はおるか中学生まで入通院の助成拡大を検討されているのに興部は3歳まで……」と書かれてありました。先日紋別市長が市議会で発表した新聞の記事をご覧になっての事だと思います。実は、この方は少し誤解をされていて、現在興部町では小学校に入るまでは入院通院の医療費は無料となっています。また中学に入るまで、つまりは小学生の間は入院医療費のみ無料の助成をしています。今回紋別市では、来年度から入院だけでなく通院医療費も助成する考えですので興部町よりも助成が手厚くなる訳です。一方、この他にも興部町ではヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチンなどの助成もしています。管内的には、町村がこの助成内容が手厚く、人口の多い市は少ない助成基準にする傾向でした。ただ、興部町は決してたくさんの助成をしている方ではありません。特に平成15年から来年3月までの10年間財政再建に取り組む期間でしたので、補助や助成は極力抑えてきました。しかし、メールの女性も後半部分に「若者が増えてくれない」と書かれてありましたが、「少子化対策と若い世代の定着」が興部町の大きな課題であることは間違いありません。しかし、助成するお金は皆さんの税金ですので、医療費の助成だけで若い人たちがこの町に住むとは考えられません。もっと、生活環境全般に亘った仕組みづくりを考え、その中の一つに子供の医療費助成を考えたいと思っています。

さて、この号が届く頃には皆様新年をお迎えの事と思います。お陰様で町長日誌も私の圧力で？廃止にもならず110号にまで続けることが出来ました。感謝を申し上げます。例年、町民の皆様への年賀状については広報“年頭のご挨拶”に代えさせて頂いていますのでご理解ください。今年も本当にお世話になり、ありがとうございました。新しい年が良い年でありますよう願っています。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

開校112年

# 沙留小学校

校長 坂田 知史

## 教育目標

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆よく働く子
- ☆じょうぶな子



## 「主役はみんな!最高の思い出が残る学芸会!!」

沙留小学校のみんなで決めたテーマのものと、一人ひとりが役割を持ち、目標をもって取り組んだ学芸会。約3週間の練習では、セリフや歌詞、音符を繰り返し練習して覚え、新しいことや自分の限界に挑戦する場面も見られました。子どもたち一人一人が自分のもてる力を十分に発揮し、みんなキラキラ輝いた学芸会でした。



本校では、年間を通じて様々な教育活動を実践しています。春の運動会、全校バス遠足に始まり、夏の海浜清掃、沙留神社祭、秋のマラソン大会、学芸会、冬には中学校訪問、スキー学習と子ども達は各行事を通して一步一步着実に成長しています。

また、地域の方々からの多大な協力を頂いています。四年生では西部森林室の協力による「木工教室」を、五年生では人権擁護委員さんによる「人権教室」、六年生では住民課による「租税教室」が開かれました。更に図書館や給食センターに依頼し「読み聞かせ」「食育授業」を通じて学習を深めました。

### 児童在籍数 (12月3日現在)

1年生	11名 (男子 3名・女子 8名)
2年生	9名 (男子 5名・女子 4名) (みのり学級 1名を含む)
3年生	9名 (男子 3名・女子 6名)
4年生	18名 (男子 13名・女子 5名)
5年生	14名 (男子 5名・女子 9名) (のぞみ学級 1名を含む)
6年生	16名 (男子 12名・女子 4名)
合計	77名 (男子 41名・女子 36名)

職員数 15名



# インフォメーション 情報ひろば

確定申告会場開設期間等  
のお知らせ

■確定申告会場開設期間  
平成25年2月4日(月)から  
平成25年3月15日(金)まで

■確定申告会場相談時間  
平日…午前9時から  
午後5時まで

(混雑の状況により、長時間お待ちいただく場合や、早めに受付を終了させていただきます) いただく場合があります)

■確定申告会場  
紋別税務署  
住所…紋別市南が丘町2丁目1番44号

## ●●警察署からのお知らせ●●

### 1. 緊急通報は110番 相談電話は「#9110」

110番は、事件事故などが発生した場合に警察へ緊急通報をするための電話です。

110番に出た警察官が、事件事故の内容に基づいて必要な事項を質問しますので、慌てず落ち着いて正しく答えてください。さらに、警察官がいち早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。



急を要しない安全で安心して生活するための相談案内は、警察相談# 9110 又は最寄りの警察署、交番・駐在所へ問い合わせてください。

110番の正しい利用をお願いします。

### 2. 冬道は 危険予知とスピードダウン

#### (1) 「かもしれない」運転と「だろう」運転

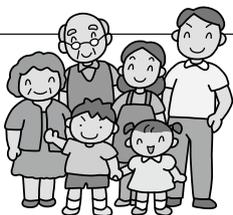
雪道の陰から子どもが飛び出してくるかもしれない、と危険を予知しながら運転することが事故回避に大きな意味を持っています。

逆に道路を渡ろうとしている歩行者を発見しても、車が通り過ぎるまでは渡らないだろう、と自分に都合の良い考え方で運転すると、渡り始めた歩行者を回避できないという結果になります。

#### (2) 急のつく運転操作をしない

○急発進 ○急加速 ○急ハンドル ○急ブレーキ

これらの「急」のつく運転操作は、タイヤがスリップしたり、車のコントロールができなくなるなど、大変危険です。



## 町税納期のお知らせ

今月は、国民健康保険税 7 期（納期限平成 25 年 1 月 31 日）の納期です。

- 今月は、国保税の最終納期です。
- 各納期を経過し、まだ納めていない町税は早急に納入願います。
- 町税を納期限内に納入できないなどの事情のある方は、住民課・税務係に相談ください。
- 納期限を過ぎても町税が納入されないときは、地方税法に基づき督促状を送付します。
- ※ 督促状送付後 14 日間程度、納付又は連絡のない場合は、納税の誠意なきものとして、国税徴収法及び地方税法に基づき、財産調査の上、差し押さえる場合があります。
- 固定資産の異動、特に家屋の新築や取り壊しがあった場合や軽自動車に異動があった場合は速やかに届出をしてください。
- ※ 町税に関する問合せは、役場住民課税務係へ (Tel 82 - 2131 内線 225.226)
- 国民健康保険への加入、脱退の異動手続は、2週間以内に行ってください。
- ※ 国保手続に関する問合せは、きらり保険医療係へ (Tel 82 - 4140)



# 後期高齢者医療制度のお知らせ

## ■高額介護合算療養費及び医療費通知について■

### ■高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。なお、手続きには市町村窓口への申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円未満の場合は支給されません。

### ◆自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	31万円
		区分Ⅰ（※2）	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

支給の対象となる方へは、申請手続きのご案内をいたします。

### ■医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行をご希望される方を対象に、医療費を半年ごとにまとめた医療費通知を送付しています。次回の発行は平成25年3月（平成24年7～12月分）に行います。

### ◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または興部町福祉保健総合センター「きらり」へご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

○すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。

○この通知を受け取られたことにより、申請等の手続きをされる必要はありません。

※この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

#### 北海道後期高齢者医療広域連合

住所 〒060-0062  
札幌市中央区南2条西14丁目  
国保会館6階

電話 (011) 290-5601 番

お問い合わせ先

#### 興部町福祉保健総合センター「きらり」

介護支援課保険医療係

電話 (0158) 82-4140 番



# 国民年金

## 新成人の皆さん 忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう

### 【20歳になったら国民年金】

国民年金は、全ての公的年金の基礎となるものです。日本国内にお住まいの20歳から60歳までの方は、公的年金に加入することが法律で義務付けられています。

自営業者・学生・フリーターの方などが20歳になったときは、住所地の市町村役場で国民年金加入の手続きが必要です。また、厚生年金保険や共済組合の加入者（第2号被保険者）に扶養されている配偶者の方が20歳になったときは、第2号被保険者の勤務先を経由して加入の手続きを行うことになります。

なお、第2号被保険者が20歳になったときは、加入の手続きは必要ありません。

国民年金の加入手続きをきちんとして、保険料を納めましょう。

《国民年金第1号被保険者の月々の保険料は、14,980円（平成24年度）です。》

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合（※所得額が一定の基準以下）には、本人の申請手続きによって承認を受けると、保険料の納付が免除または猶予される制度（全額免除・一部納付申請・若年者納付猶予申請）があります。保険料を未納のまま放置すると、将来の「老齢基礎年金」や、いざというときの「障害基礎年金」、「遺族基礎年金」を受け取ることができない場合がありますので、必ず保険料を納めるか、納めることが困難な場合は免除制度をご利用ください。

※所得額の基準について、詳しくは下記の「ねんきんダイヤル」またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

### 【20歳になられた学生の方へ】～保険料の納付を猶予する「学生納付特例制度」

学生納付特例制度は、所得が無い学生の方が、将来、年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受けることができなくなることを防止するため、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

対象となられる方は、大学等に在学する20歳以上の方で、本人の前年所得が一定額以下の方となります。

※所得額の基準について、詳しくは下記の「ねんきんダイヤル」またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

【問い合わせ先】役場住民課戸籍年金係（TEL 82・2131内線224）

#### 国民年金加入者の種別

- 第1号被保険者・・・自営業者・20歳以上の学生・家事手伝い・フリーターなど
- 第2号被保険者・・・厚生年金等に加入しているサラリーマンなど
- 第3号被保険者・・・第2号被保険者の被扶養配偶者

### 1月の年金事務 相談所の開設日程

日 時 1月24日(木) 午前9時～午後3時  
場 所 紋別市民会館（紋別市潮見町1丁目）

※お客様の相談時間を十分確保するため、完全予約制となります。相談予約は電話により相談開設日の1ヶ月前から受付します。 電話予約受付番号 0157-33-6007（北見年金事務所）

### 年金のお問い合わせは「ねんきんダイヤル」へ！

○年金相談は、「ねんきんダイヤル」TEL 0570-05-1165

または、お近くの年金事務所をご利用ください。

※IP電話・PHSからは「TEL 03-6700-1165」にお電話ください。

月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分

ただし、月曜日（月曜日が休日の場合は火曜日）は午後7時まで

第2土曜日：午前9時30分～午後4時

\*祝日はご利用いただけません。



## 第3回極真館北海道青少年大会 真空会館興部支部 3人が準優勝!

去る11月24日、岩見沢市で標記大会が150名を超える参加者で開催され、真空会館興部支部から6名が参加し、3名が準優勝する見事な成績を収めることができました。

小学5年生の部で出場した舘山君は、17人の強豪ひしめく中、一回戦を優勢勝ち、2回戦は延長の末、判定勝ち、3回戦も延長戦で判定勝ちと苦戦しながらも勝ち進み決勝へ駒を進めました。決勝戦では開始早々、相手の上段前蹴りを受け先制され、その後は優勢に攻め続けるも判定負けで惜しくも準優勝となりました。

中学女子の部で出場した山中さんは決勝まで駒を進めたが、決勝戦で判定が割れる接戦の結果、惜しくも判定負け、中学男子の部に出場した南君の決勝戦は、互角に戦うも終盤に上段膝蹴りで技ありを取られ判定負けという結果でしたが、3選手とも準優勝と見事な成績を収めました。



◎小学5年男子の部（上級の部） 準優勝

舘山 翔太（沢木小5年）

◎中学女子の部 準優勝

山中 苑郁（興部中2年）

◎中学男子2年生の部 準優勝

南 魁斗（沢木中2年）

## 第2回 おもしろ科学教室が開催されました

11月20日、中央公民館で、第2回おもしろ科学教室が開催されました。

沙留中学校の山中高弘校長先生を講師に招き、スターチャートボードという星座早見盤の作成、秋の星空観察の内容で行われましたが、あいにくにも雪が降ってきたので楽しみにしていた星空観察は中止となりました。

参加した小学生22名は、残念そうでしたが、スターチャートボードを自分達で作成し、使い方を勉強しました。また、星空観察が出来なかった分、スクリーンに映し出された星空で月の動き、星の動きを勉強しました。



## 第 19 回 町民ミニバレー大会

12月2日、農業者トレーニングセンターで町民ミニバレー大会（主催：興部町ミニバレーボール協会）が開催されました。

大会には、地域や職場の仲間で編成された9チーム約60名の方が参加し、リーグ戦による試合が行われ、家族や仲間の声援を受けながら、各チームは優勝を目指し、白熱した試合が繰り広げられました。



### ○大会結果

優勝 『あ お』 （代表者 大石 茉莉）  
 準優勝 『あ か』 （代表者 岩田 優樹）  
 3位 『SARU B』 （代表者 前谷 美紀）

## 安心して暮らせる 地域づくり懇談会がスタート

地域での高齢者支援体制を話し合う、「いつまでも安心して暮らせる地域づくり懇談会」（計4回開催）の第1回目が、11月16日に福祉保健総合センターで開催されました。

懇談会は、地域ボランティア団体や自治会関係者、福祉関連団体など町民の参加により開催され、北星学園大学社会福祉部福祉計画学科教授 杉岡直人氏による「高齢者が安心して暮らせる地域づくりとは」と題した講演では、地域の集いの場所となっている「地域食堂」の事例などの話があり、続いて(有)エーデルワイス代表取締役 青山由美子氏による「住み慣れた地域で元気に暮らしていくために必要な地域ネットワークとは」と題し、「認知症高齢者110番の家」の紹介や活動内容について、講演されました。両氏には、地域で取り組むことを話し合う上で、大変貴重な講演をしていただきました。また、第2回目は12月13日に開催され、第3回目は1月18日、第4回目は2月15日に開催する予定です。



# 交通安全のクリスマスプレゼントが渡されました

12月13日、興部・沙留保育所の子どもたちに交通安全サンタプレゼント（主催：興部地区交通安全協会連合会）が行われました。

子どもたちは「信号の色を良く見て、左右をよく見てから手を挙げて横断歩道を渡りましょう」などの話を聞いた後、交通安全の約束をして、プレゼントを受け取りました。一足早いクリスマスプレゼントに子どもたちはとても喜んでいました。

交通安全協議会連合会は、交通安全意識の普及啓発のため、交通安全運動や交通広報及び各種キャンペーンなどの活動を皆様の会費で行っています。



# 興部高校「デートDV講座」

12月10日、興部高校において、デートDVとは何かを知り、共に暮らせる社会を築くために、お互いを尊重した関係について学ぶ「デートDV」講座が紋別人権擁護委員協議会の協力のもと行われました。

講座には、3年生23名が参加し実際にデートDVとはどのようなものかをビデオを通じて学び、生徒自身がそれぞれの立場に立って演じるロールプレーを行い、デートDVの背景や特徴について考え、将来においてDVの加害者、被害者にもならないために自分も相手も尊重する関係を築く、人権意識の大切さを学びました。



# 今月の行事

1月	行事名
4	興部町成人式
6	消防団出初式
7	役場御用始め
24	町長と自治会との懇談会

# 町のうごき

12月	行事名
2	第19回町民ミニバレー大会
16	第46回衆議院議員総選挙 第22回最高裁判所裁判官国民審査
18	第4回町議会定例会 役場御用納め
28	

## ご出産おめでとう

出生児名	親の名	住所
◎女の子		
田中美紗	祐麻 太美	栄 町
小野灯里	優恵 太子	沙留北浜町
中澤ち嘉	亮望 介未	本 町

# ご寄附のお礼

- ▽北興大黒トメ子さんより亡夫（故大黒嘉夫さん）の香典返しを廃して  
北興自治会へ
- 北興老人寿クラブへ
- 北興自治会女性会へ
- 社会福祉協議会へ  
金一封
- ▽本町島森實さんより亡妻（故島森悦子さん）の香典返しを廃して  
本町自治会へ
- 社会福祉協議会へ  
金一封
- ▽沙留元町横田恒規さんより亡父（故横田新作さん）の香典返しを廃して  
沙留元町自治会へ
- 社会福祉協議会へ  
金一封
- ▽東京都新宿区阿部亮さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- ▽千葉県市川市飯田高明さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- ▽奈良県生駒市中北真さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- ▽東京都杉並区松田宏光さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- ▽東京都杉並区松田宏光さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- ▽東京都羽村市羽村千枝子さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- ▽興部町文化連盟（会長山田尚儀）より町民チャリティー演芸会益金を  
社会福祉協議会へ  
金一封
- ▽紋別市永井伸二さんより亡母（故永井啓子さん）の香典返しを廃して  
沙留緑町自治会へ  
社会福祉協議会へ  
金一封
- ▽東京都小平市松田京子さんよりふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封
- りふるさと応援寄付として  
興部町へ  
金一封

## 国保病院からのお知らせ

# 1月の皮膚科診療の日程

◎ 期日 8日(火)・22日(火)  
◎ 場所 興部町国民健康保険病院

## お悔やみ申し上げます

死亡者氏名	住所	年齢
大黒 嘉夫	北 興	82
島森 悦子	本 町	86
永井 啓子	沙留緑町	76
笹井 一	宮下町	80
横田 新策	沙留元町	84

## ひとりで悩まないで 悩んでいる・困っているなら 人権擁護委員 に相談してください

☆わたしたちの街の人権擁護委員です

田中 啓一 ☎82-2522  
小山真由美 ☎82-2996  
今井 秀和 ☎83-2244

子供の人権110番 フリーダイヤル  
0120-007-110



## 飲酒運転を根絶しよう

年末年始は、忘年会や新年会などで飲酒の機会がふえることから、飲酒運転による事故の増加も心配されます。「飲んだら乗らない」、「乗るなら飲ませない」を徹底し、地域や職場、家庭ぐるみで飲酒運転を根絶しましょう。

毎月15日は、道民交通安全の日です

●人のうごき 人口 **4,171** / 男 **2,042** / 女 **2,129** / 世帯数 **1,817** 11月末現在  
(前月比) (+10) (+4) (+6) (+2)



発行／平成25年1月 北海道紋別郡興部町役場  
編集／総務課広報広聴係 印刷／(株)ソーゴ